

## 「時を刻む」 ～未来を拓くあなたたちへ～

校長 高橋 千広



先日、一つ歳を重ねた私を感じたことからお話をさせていただきます。歳を重ねるたびに感じることに、それは、過ぎゆく時間の大切さです。「永遠に時を刻む時計」はありません。人間は与えられた寿命があります。だからこそ、与えられた時間を大切にして過ごしたいと考えます。「時を刻む」とはどのような意味なのか、私なりの考えをお伝えしたいと思います。一つ目に、時間を有効に使うことです。二つ目には、一生懸命に取り組むことです。時間を有効に使うためには、目的を持ちましょう。皆さんが、7つの習慣Jで学んだ第二の習慣「目的を持つてはじめる」ことの実践です。そして、取り組む時は一生懸命にやりましょう。そうすることで、次の扉が開きます。

これから皆さんが生きていく近い未来は、新しい創造にあふれた社会と言えるでしょう。何と素敵なことでしょうか。今までの当たり前が当たり前でなくなる。皆さんの世代が世の中心となり、今ある課題（SDGs）を、叡智を結集し解決するなかで、誰一人取り残さない世の中を築いていくのだと期待を膨らませています。

目的を持ち一生懸命励むということは、皆さんが一人ひとりの良いところを伸ばし、あなたが自信の持てることで、将来社会貢献をすることです。そのステップとして、まず、自分のことを見つめ将来どうしていくのか考える。次に、自分が住む街、浜松市のなかの自分を見つめる、次に静岡県の中の自分、次に日本のなかの自分、そして世界のなかの自分を見つめてください。十八歳で選挙権があるということは、自分の周りに広がる社会に目を向け、責任を果すことにはかならないのです。だから、学習も必要なのです。皆さんの周囲に広がる社会の仕組みを理解するためにも、様々な知識が必要です。多くの人と出会い、話をするのもあなた自身の良さを知ったり、社会貢献内容を選択したりすることに有効でしょう。

あなたたちは世の中を切り拓いていく世代です。日本の期待する人材です。浜松開誠館中学校・高等学校に通う間に

「時を刻める人」を求め、将来広い視野と広い心をもって、どこで過ごそうとも、ともに生きていく仲間と手を取り合い、新しい発想を持ち、失敗を恐れず前進していくたくましい人であってほしいと願っています。